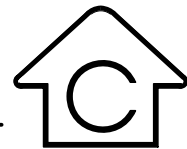




当センター接合金物規格を改正！

—— ねじ用接合金物を順次規格化 ——



(財)日本住宅・木材技術センター

当センターは、かねてから要望のあったタッピンねじ及びタッピンねじ用接合金物の規格化等を内容とした木造建築物用接合金物規格の改正を、平成22年7月22日付けで行いました。主な改正点は、下記のとおりです。

1. 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) にクロメートフリー処理を追加しました。

これまでの溶融亜鉛めっき鋼板の化成処理は、クロム酸処理に限定していたのを六価クロムを含まない化成処理 (クロメートフリー処理) を追加しました。このことによって、環境負荷物質の使用規制にも対応できるようにしました。

2. 四角穴付きタッピンねじ (以下「タッピンねじ」という。) を規格化しました。

タッピンねじを規格化することによって、線材の品質や製造方法を追加しました。製造方法はJISに適合する方法で製造し、タッピンねじの表面硬度、心部硬度及びねじり強さによる強度区分等を定めることによって、品質・性能を確保しました。

1) . タッピンねじの表面処理は、接合金物と同等以上の耐食性を有するものとししました。

溶融亜鉛めっき鋼板を使用した接合金物の表面処理はZ27であることから、タッピンねじの表面処理についても同等以上の耐食性を有するものとししました。このことによって、接合金物の耐久性は、接合金具に左右されないようにしました。

2) . これらの接合金物規格改正を受けて、タッピンねじ2種類を規格化しました。

最終的には、5種類のタッピンねじを規格化する予定です。今回は、Cマーク表示金物の帯金物に使用するSTS・C45とSTS・C65の2種類を規格化しました (図1参照)。

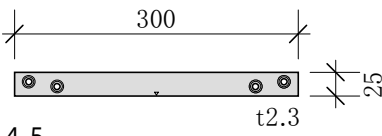
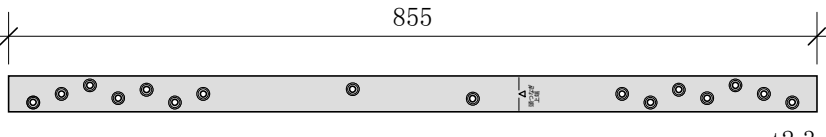
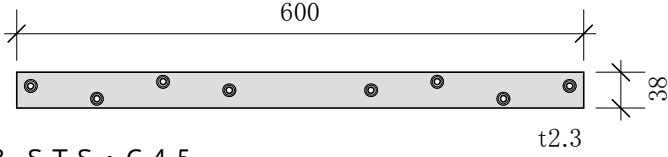
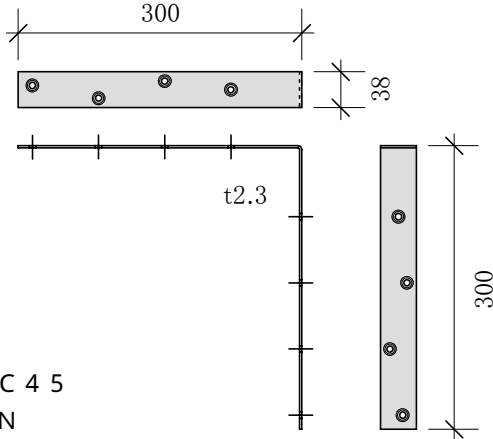
図1 四角穴付きタッピンねじ

接合金具		(単位: mm)
記号	形状・寸法	
STS・C45		
STS・C65		

3. Cマーク表示金物の帯金物4種類を規格化しました。

タッピンねじ用接合金物は、Zマーク表示金物及びCマーク表示金物を順次規格化する予定です。今回は、Cマーク表示金物の帯金物S-30、S-85、S-60、S-A60の4種類を規格化しました（図2参照）。

図2 帯金物（Cマーク表示金物）

記号	形状・寸法 (単位：mm)	用途
S-30	 <p>接合具：4-STS・C45 短期許容耐力：2.4kN</p>	くぎ使用のS-45と同様の用途で、根太、上枠又は頭つなぎの補強
S-85	 <p>接合具：16-STS・C65 短期許容耐力：8.8kN</p>	くぎ使用のS-65と同様の用途で、1階と2階の開口部が一致する上下縦枠の補強
S-60	 <p>接合具：8-STS・C45 短期許容耐力：5.6kN</p>	くぎ使用のS-90と同様の用途で、棟部たる木の相互の緊結、オーバーハング等の隅角部の補強
S-A60	 <p>接合具：8-STS・C45 短期許容耐力：5.6kN</p>	

4. 枠組壁工法用接合金物試験法規格を制定しました。

軸組工法用接合金物試験法規格に加えて、新たに枠組壁工法用接合金物試験法規格を制定しました。このことによって、枠組壁工法用接合金物の性能認定等を実施する体制が整いました。

5. その他

これらの接合金物は、当センターの承認基準に適合した製造工場から供給されます。よって、供給時期は、承認後になります。承認を受けた工場は、当センターのHP等で紹介します。